

# HARIMA NEWS



2022 Vol.17

2022年Vol.17 掲載情報

社長からのご挨拶  
表装技能士の卵たち  
5S 最終報告 ストアを潰せ

襖とハリマ産業を知ってもらいたくて

## ごあいさつ

平素よりハリマ産業をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

昨今、襖よりドアの製造量の方が多くなるようになって、いよいよ時代の流れには逆らえないのだと実感しております。つい先日、当社が長年お手伝いをさせて頂いている松戸市少年少女発明クラブが40周年を迎え、記念誌を発行することになったのですが、その際、前回の30周年記念誌を読み返し、あれから10年も経っているのだと驚きました。10年前も和室・ふすまの急激な需要減に苦しんでいましたから、10年という時間を生き抜いてきたことに不思議な気持ちがしています。よく生き残ったなー。(笑) 皆様の10年はどのような時間だったのでしょうか。今後のハリマ産業には、ふすま屋として、そして一企業としての生き残りをかけた様々な努力が求められるでしょう。和室を洋室にしたいというご要望を受け、ふすまを板戸(引戸)に変えるリフォーム工事を引き受けざるを得ない状況に、ふすま屋としての、そして一企業としてのビジョンを描く難しさを痛感しております。今後とも皆様からのご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

バックナンバーは  
WEBにて公開中!

代表取締役 大久保 謙一

## ハリマのあゆみ

### 表装技能士の卵たち - ふすまの工場見学会 -



3月17日、ハリマ産業の本社工場にて、「ふすまの工場見学」を開催いたしました。来社されたのは「表装技能士」を目指されている東京表具内装職業訓練校の学生さん達です。表装とは、絵や書などを布や和紙、糊を使って仕上げる作業のことで、掛軸、屏風、ふすまなどが表具品にあたります。国家資格となり、幅広い分野、業界で必要とされております。とても熱心に見学されていたので、工場内も少々緊張気味でした。また、見学後の座談会では様々なご質問を頂きました。ふすまに関心をもって頂きましたことを大変嬉しく思っております。進まれる道は様々かと思いますが、皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。お忙しいところハリマ産業の工場見学に足をお運び頂き、誠にありがとうございました。

東京表具内装  
職業訓練校

ハリマのあゆみ

## 5S 最終報告 – ストアを潰せー

2021年10月から2022年3月までの半年間、ハリマ産業は商工組合中央金庫と中小企業基盤整備機構の支援を受け、5Sの専門家である我妻隆吉先生のご指導のもと悲願の「5S」にチャレンジいたしました。本号では総括をお届けしたいと思います。

3月23日、ハリマ産業の会議室にて5S活動の最終報告会が行われました。スタートは工場内を全員で歩き、ビフォーアフターを確認しました。目に見えて無駄なものが減り、工場内の見通しが良くなったことは共通した感想であったと思います。その後は会議室にて各社員から成果報告がありましたが、その殆どが「5Sによって生産性が上がる実感を得た」というものでした。常に何かを探していたり、必要なものがすぐ近くになかったりと、これまでは無駄な動きというものがある一日の中に沢山あったように思いますが、これを減らすことによって「建具1本」が仕上がるのにかかる時間がだいぶ変わってきました。人間が無駄な動きをしている間、ものは当然に「ストア状態」となりますから、片付けること、整理することは、間違いなく会社の利益になることなのだと思感いたしました。

また、思考順序についても整理できてきたように思います。今回の取り組みで改善したことの一つに、「事務所と工場間の伝票渡しのストア」というものがあります。事務所で作成される製作伝票（建具の製造に必要な指示書）を工場に持っていくという、一見簡単なタスクなのですが、実際にその作業を行う担当者を決めようと思うと難航します。一体誰の仕事なのか？そうした問いにアドバイザーから思考の整理方法という形で答えを頂きました。結論、工場にプリンターを設置することで解決します。しかし、製作伝票には印刷後に手で補記する必要があるもの（伝票の項目にない情報）があります。これは残念ながら現在の伝票作成システムの仕様ではどうすることもできません。すると、「事務所と工場間の伝票渡しのストア」を潰すには、プリンター設置と、伝票作成システムの改修が必要であるということ一旦決着します。システムの改修には時間も費用もかかるため、落としどころとしては補記が不要な伝票だけ工場のプリンターに出力し、少しでも早く製作伝票を工場に渡すようにするというところでしょうか。単純に聞こえますが現場にとっては大きな負担でしたので、一歩前進です。今後は「越境」という課題もあります。会社全体を良くしていくためには、ときに他人のテリトリーにも踏み込んでいく必要があり、これは衝突を生むかも知れません。このような時、思考順序の整理は重要なのだと思います。

工場からの変革は、もしかしたら創業以来のことなのかも知れません。ハリマ産業では5Sが会社の文化となるように引き続き活動を続けていきたいと考えております。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。今後ともハリマ産業へのご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

